

SEI WORLD

住友電工グループニュースレター Vol.455

8

2015



SEI WORLD 8

2015

住友電工グループニュースレター Vol.455

Contents



トップメッセージ

ドーバーの波濤を越えて



特集

欧州での
海底ケーブルプロジェクト



製品技術

フラットマルチドリル
MDF型



Latest Information

車社会の環境ニーズに応える
住友電工グループの
自動車関連製品
～FCV「MIRAI」に搭載～



今月のグループ会社紹介

中華人民共和国SFPZ社
住友電工(蘇州)超效能高分子有限公司

TOP MESSAGE

ドーバーの波濤を越えて

住友電気工業株式会社 社長 松本 正義



このたび、当社グループの(株)ジェイ・パワーシステムズが、ベルギーELIA社と英国National Grid社との合弁会社であるNEMO LINK社から「40万V直流XLPE海底ケーブル」を受注しました。このプロジェクトは、イギリス～ベルギー間をつなぐもので、海底ケーブル部分が130km、陸上部分が11.5kmあります。今月号では、このプロジェクトについてご紹介しております。

私どもにとって今回の受注には、直流送電用XLPEケーブルの商用運転電圧としては世界最高となる40万Vクラスのケーブルを受注したこと、そして欧州の国家間をつなぐ長距離送電線をアジアのケーブルメーカーとして初めて受注したこと、という2つの大きな意義があります。

当社の歴史をひもと紐きまると、1922年(大正11年)の愛媛県新居浜～四阪島間の海底ケーブル布設プロ

ジェクトに行き当たります。当時、20km以上離れた島を海底ケーブルでつなぐというのは世界でも例がなく、海外のケーブルメーカーも尻込みしたと伝えられていますが、それに当社(当時は住友電線製造所)が挑戦し成功させたことが、その後の事業発展につながっていきました。

エネルギー安全保障の確立と、出力が不安定な再生可能エネルギーの相互融通といった観点から、欧州では国家間をつなぐ送電網の構築が積極的に進められております。先般、ベルギー、イギリスに出張し、本プロジェクトの関係者と打ち合わせましたが、非常に重要なインフラであるだけに、私どもに寄せる期待の大きさをひしひしと感じました。製品・システムの品質・信頼性への要求も極めて高く、大きなチャレンジでもありますが、このプロジェクトを無事完工させることが次の飛躍につながるものと信じ、萬事入精の精神で取り組みます。

今回は、海底送電線の最大市場と言われている欧州で
 当社グループの(株)ジェイ・パワーシステムズ(以下、JPS)が携わっている
 海底ケーブルプロジェクトや採用されたケーブルの概要をご紹介します。



JPSの直流XLPEケーブル

近年、長距離・大容量送電に有利な直流送電線路が欧州などで活発に建設されています。これらの線路には、絶縁油を用いたOFケーブル※1が主に用いられてきましたが、保守管理、経済性や環境面から、固体絶縁であるXLPEケーブルの適用が望まれるようになりました。XLPE(Cross Linked Polyethylene)とは、ポリエチレンを架橋し分子構造を網目構造とすることで高温での軟化を大幅に改善したものです。XLPEケーブルはこれを絶縁体で使用したものであり、他の絶縁材料より高温で使用できることから導体サイズが低減可能になります。

XLPEケーブルは、交流送電用としては広く普及していますが、直流電圧下では絶縁体中に空間電荷※2が蓄積するなどの理由で十分な絶縁性能を発揮できませんでした。

この問題に対しJPSは、XLPE絶縁体中に特殊な配合剤を均一に分散させることで、材料の体積抵抗率を飛躍的に向上させ、また、絶縁体中に蓄積する空間電荷を劇的に減少させた、これまでにない高性能な「超高压直流XLPEケーブル」の開発に成功しました。非常に優れた直流絶縁性能によって、従来の直流XLPEと比較して、約20℃高い温度(90℃)での連続運転と、送電電圧の極性反転※3運転とを世界で初めて可能にしました。

- ※1 OFケーブル: 油浸絶縁紙を絶縁体としたケーブル。
- ※2 空間電荷: 絶縁体中に蓄積する電荷のこと。大量に蓄積すると絶縁体に加わる電界を大きく歪ませ、ケーブルの絶縁性能に影響を及ぼす。
- ※3 極性反転: 直流送電線の運用状況に応じて、ケーブルに印加される電圧のプラスとマイナス(極性)を入れ替える操作。

欧州 海底 ケーブル

PROJECT

イギリス南東部のケント州と ベルギーのゼーブルージュ間 海底ケーブル



本プロジェクトは、イギリス南東部のケント州と、ベルギーのゼーブルージュで建設が予定されている交流直流変換所を結び連系送電線の建設プロジェクトで、全長は141.5km(海底区間130km、陸上区間11.5km)となります。設計、調達、建設を含むEPC契約※4となり、プロジェクト総額は約700億円です。

JPSは、直流XLPE絶縁ケーブルでは世界最高電圧となる±400kVクラスのケーブルの設計・製造工事・竣工試験・試運転を請け負い、2019年に引き渡す予定です。



JPSでは世界トップの性能と汎用性を持つXLPE絶縁材料の開発に成功、北海道と本州を結び既設の連系送電線に追加布設され、2012年から直流250kV/300MWの送電を開始しています。既に500kVまでの高電圧化開発も完了していることが高く評価され、本プロジェクトへの採用に至りました。また、JPSは今回紹介したプロジェクト以外にも、イギリスで2件の海底ケーブルの受注実績があります。

※4 EPC契約: 設計(engineering)、調達(procurement)、建設(construction)を含む、建設プロジェクトの建設工事請負契約。

ドイツの洋上風力向け 海底ケーブル



本プロジェクトは、ドイツSiem Offshore Contractors社 (SOC) と共同で、ドイツ送電業者であるTenneT社より洋上風力発電所の洋上変電所と洋上交流/直流変換所を結ぶ交流155kV 3芯CV海底ケーブル (計15km、ルート長約6.5km) の資材供給および工事を2012年に受注したものです。(送電容量332MW/2回線)。福島第一原発の事故を受けドイツ政府が原発廃止を決定、同国における再生可能エネルギーへの期待が急速に高まる中、水深が浅く安定的な風量を確保できる北海の洋上風力発電の開発は喫緊の課題となっています。当社の実績と信頼性に加え、パートナーであるSOC社の布設技術がお客さまの高い評価を得てこのような重要線路の受注に結びつけることができました。

担当者に聞いてみました！

Q 海底ケーブルはどのように布設するのですか？

海底ケーブルは、工場に横付けした布設専用船や貨物船に直接積み込み、工事現場まで輸送します。工事現場では、布設専用船から、慎重にケーブルを海底に繰り出しながら、船の位置を正確に制御し、海底に布設していきます。また、重要な海底ケーブルは、高圧水流や、鋤、チェーンカッターなどの水中機械を用いて、錨や漁具に引っ掛けられることがないように、海底に埋設しています。

Q イギリス南東部のケント州とベルギーを結ぶ海底ケーブルの重さや太さはどれくらいですか？

重さは約45kg/m 外径は約14cmです。

Q 海底ケーブルを1度ひいたらどれくらい持つのですか？

設計寿命は40年です。

Q お客さまからJPSのXLPEケーブルについてどのような反応をいただいていますか？

国際連系線や洋上風力発電市場の世界的な活発化を受け、長距離送電に適したDC-XLPEケーブルのニーズは今後ますます増えていくことが確実です。お客さまにとっては最重要線路向けのケーブルということもあり、当社の実績と品質への徹底したこだわり、環境への優しさに加え、当社製品特有のメリットとして高い運転温度によりケーブルをコンパクトにできる点や、極性反転に対応した双方向のシステムの運転が可能である点が高く評価されています。

今回ご紹介したXLPEケーブルのみならず、MI海底ケーブルも欧州で活躍しています

当社は、2014年1月にモンテネグロとイタリアを結ぶ海底電力ケーブルプロジェクトにおいて、イタリア電線メーカーのプリズミアン社より、MI海底ケーブル※の製造を受注しました。本プロジェクトは、イタリアのテルナ社の子会社であるテルナ・レテ・イタリア社が計画中のもので、モンテネグロとイタリアの間に、送電容量500MWの直流500kV電力ケーブルを2条 (双極運転で1,000MW送電が可能)、最大深度1,200m、巨長約415kmにわたって布設するものです。

本プロジェクトは、ヨーロッパ全土を結び、再生可能エネルギーの大規模導入、電力需給の均衡、効率的な送電を行い、ヨーロッパにおける電力市場を活性化させる次世代送電網 (スーパーグリッド) の構築をより促進します。

本プロジェクトを計画通りに完工させるために必要となる直流500kVMI海底ケーブル115kmの製造を担っており、2014年に当社・大阪製作所で製造を開始し2016年に納入予定です。本プロジェクト受注により当社は、500kV長距離大容量の国際連系線市場に参入を果たしました。

※MI海底ケーブル: MIはMass Impregnatedの略であり、絶縁紙に高粘度の絶縁油をマス含浸することを意味します。MI海底ケーブルは、これを絶縁体に使用したものであり直流特性に優れるとともに、OF (Oil Filled) ケーブルに対し給油設備が不要となり、長距離送電が可能になります。

SEI子さんと学ぶ

もっと知りたい あの製品技術!

今月の
注目製品

フラットマルチドリル MDF型

製品データ

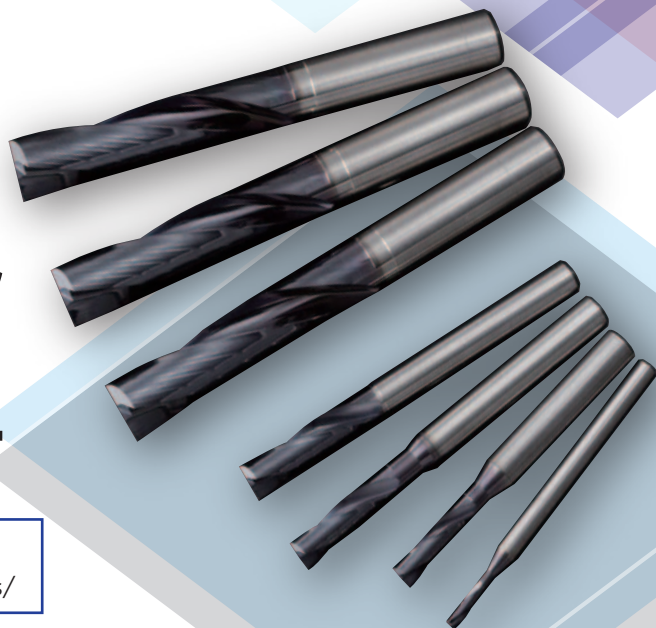
発売開始

2014年12月

WEBサイトURL

<http://www.sumitool.com/catalog/cutting/drills/>

今回は、
住友電工ハードメタル㈱の
製品をご紹介します。



フラットマルチドリル MDF型とは…?

当社では、自動車部品や航空機部品、電子部品に至るまでさまざまな穴あけ加工に用いるドリルを製造・販売しています。

フラットマルチドリル MDF型は、先端のとがった通常のドリルでは不可能な傾斜面や円筒面などの平らでない面へも穴あけ加工が可能で、さまざまな用途で使用可能な工具です。

また、穴あけ加工時に貫通穴出口部に形成されるバリの大きさを、通常のドリルに比べ2分の1以下に抑制します。現在、ドリル径φ0.3~20.0mmに対応しており、今後さらにラインナップを増やしていく予定です。

フラットマルチドリル MDF型の特長は?

先端角が180°であるため、平面だけでなく、傾斜面や円筒面などあらゆる面への穴あけ加工が可能です。また、穴底が平らになるので、高効率な座ぐり加工*も可能です。これを実現しているのが、RSシンニングという新しい中心刃形状です。これにより、肉厚を待たせて剛性を上げる一方で広い切りくず排出溝を確保しました。さらに、溝を高品位に仕上げることでステンレス鋼への加工も実現しています。

* 座ぐり加工: ナットなどのすわりをよくするため、穴上面を平らにすること。



RS
THINNING

技術者に聞きました

住友電工ハードメタル㈱
デザイン開発部 ラウンドツール開発グループ
川上 佑馬



フラットマルチドリル MDF型を開発する上で 難しかったことは何ですか?

平らでない金属に穴をあけるには、加工面にしっかりと刃先を食い付かせるために、刃先の鋭さと負荷に耐えられる強度が必要でした。しかし刃先を鋭くするとドリルが負荷に耐えられず折れてしまい、強度を上げると切れ味が悪くなり食い付く前に折れてしまいます。刃先の鋭さを保ちつつ工具の強度を上げ、かつ、負荷を低減させるために試行錯誤を重ねた結果、RSシンニングという独自の中心刃形状を設計しました。これにより、加工時の振動を抑え、高い切れ味と高強度を両立し、左記のフラットマルチドリル MDF型の優れた特長を実現できました。

当製品のこういった点が お客さまに喜ばれていますか?

一例として、表面がいびつな形状のところに、ドリルで深い穴をあける場合、事前に表面を平らにしておく必要があります。現在はエンドミルと呼ばれる工具で、まず表面を平らにすることが一般的ですが、フラットマルチドリルを用いると穴加工で平面な面を一工程で作れるので、加工時間を短縮できます。また、エンドミルより工具寿命が長く、生産性向上と工具費低減を両立できるため、お客さまから喜ばれています。

LATEST information

お知らせ

自動車事業本部

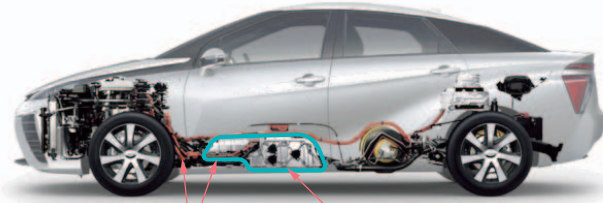
車社会の環境ニーズに応える住友電工グループの自動車関連製品 ～FCV「MIRAI」に搭載～

当社グループでは、HEV、EV向け自動車部品など、時代のニーズに応じたさまざまな自動車関連製品を提供してきました。アルミパイプで電線を保護し、耐衝撃、電磁ノイズシールドに優れたHEV車用床下パイプハーネスや、EV充電用コネクタなど幅広い製品をラインナップしています。

そして、2014年にトヨタ自動車(株)が販売を開始した量産FCV※1「MIRAI」にも、これまでの当社の開発/納入実績が評価され、ワイヤーハーネスのメインサプライヤーとして数多くの当社グループ製品が搭載されています。

燃料電池 (FCスタック) 内には、当社が開発した「スタックサブハーネス」が搭載されています。また、水素循環ポンプ※2に使用される「水素ポンプケーブル」なども新開発し、納入しています。

その他にも「エアコン高圧ケーブル」や「ウォーターポンプケーブル」、そしてワイヤーハーネスにとどまらない当社グループの



水素ポンプケーブル

FCスタック

総合開発力が評価され、電子制御部品の「ゲートウェイECU」、住友理工(株)の「水素ホース」、ゴム製シール部材「セル用ガスケット」、防振ゴム「スタックマウント」など、多種多様な当社グループ製品が搭載されています。

現在「MIRAI」は日当たり数台という手造りペースで、品質最優先の生産が行われて

いるそうです。その販売は好調で、トヨタ自動車(株)も増産を決定しています。

当社グループはこれからも、すぐれた技術と品質でよりよい社会に貢献する製品を提供していきます。

※1 FCV : Fuel Cell Vehicle の略。燃料電池自動車。FCVは水素と酸素を利用して発電させ走行するが、その発電で発生するのは水のみで、走行中にCO₂を排出しないことが特徴。
※2 水素循環ポンプ: 発電時に未反応の水素と、化学反応で発生した水を、FCスタックへ再度供給するための装置。これにより、水素を無駄なく使用することができる。

お知らせ

住友電装(株)

水素ステーション運営の合併会社を設立

住友電装(株)は、日本トランスシティ(株)、三重トヨタ自動車(株)、谷口石油(株)と、三重県初となる商業用移動式水素ステーションを運営する合併会社を設立しました。

昨今、政府が「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を公表するなど、日本国内では水素社会の実現に向けた取り組みが加速しています。昨年末には、世界に先駆け、燃料電池車 (FCV) の量産販売も開始されました。究極のエコカーと言われるFCVが普及するためには、FCVに水素を供給する水素ステーションの整備が不可欠です。政府は2015年度末までに水素ステーションを100カ所程度に増やすことを目標として、補助金拡充や規

制見直しなど、その整備を進めています。しかしながら、コスト面・制度面・需給面などさまざまな課題から、地方での整備が難しい状況でした。

このような中、三重県に本社を置く上述4社は、三重県におけるFCV普及を支援し、環境に優しい地域づくりの一助とするため、移動式水素ステーションを運営する合併会社を設立しました。三重県初の水素供給場所は、まずは三重県四日市市内、津市内に設置し、今後順次整備していく計画です。

当社グループはこれからも、水素ステーションの運営を通じ、環境保全への取り組みを推進していきます。

【合併会社の概要】

商号 : みえ水素ステーション合同会社
本店 : 三重県四日市市浜田町5番28号
(住友電装(株)本社内)
資本金 : 100万円
出資者 : 住友電装(株) (35%)、
日本トランスシティ(株) (35%)、
三重トヨタ自動車(株) (15%)、
谷口石油(株) (15%)
事業内容 : 移動式水素ステーションによる
水素供給事業
開業予定日 : 2016年4月

【移動式水素ステーション (イメージ)】



FCV

水素充填



LATEST information

お知らせ

ブロードネットワークス事業部

当社と大分ケーブルテレコム(株)が 10G-EPONシステムの実証実験を開始

当社は、大分ケーブルテレコム(株) (以下、OCT)と共同で10Gbpsの通信速度を実現する10G-EPON※1システムを利用した実証実験を5月に開始しました。

国内ケーブルテレビ事業者が10G-EPONシステムを使用したフィールド実験を行うのは今回のOCTが初めてで、当社は実験に使用する機器の提供とシステム構築を担当しています。

本実験では10Gbpsの高速通信規格10G-EPONに対応したPON回線カード※2 [FCM7133]を搭載した次世代EPONシ

テム局側装置 [FSU7100]、同機器と接続して10Gbpsで通信を行う加入者側端末 [FTE7502]および1Gbpsで通信を行う加入者端末 [FTE6083]が使用されています。

OCTは本実験で既存CATVサービスへの影響や10G-EPON対応の局側装置を用いた省スペース化による運用コストの削減効果、最大通信速度を10Gbpsへ引き上げることによる高速通信サービスメニューのラインナップ強化に向けた検証を行います。

当社は、本実験で得られた10G-EPONシステムの実フィールドでの伝送性能データなど



次世代EPONシステム
局側装置 [FSU7100]

を参考にさらなる性能・機能向上に役立てていきます。

- ※1 10G-EPON: 10Gigabit - Ethernet - Passive Optical Networkの略。10Gbpsの伝送速度を有する光加入者ネットワーク。
- ※2 PON回線カード: 10G-EPONの回線を提供する回線ユニット。

お知らせ

パワーシステム研究開発センター、新規事業マーケティング部

太陽光発電システムの自立出力と連携できる 高効率家庭用蓄電池 [POWER DEPO® II] の販売を開始

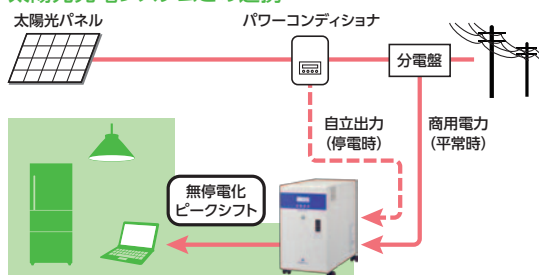
当社は開発した「リチウムイオン蓄電システムPOWER DEPO® II」の販売を開始しました。

本製品は大容量2.9kWhのリチウムイオン電池を搭載し、災害などによる停電時に情報機器や家電製品に長時間給電することが可能なスタンドアロン型※1の蓄電池です。太陽光発電システムとの連携により安定した電力供給が実現可能です。また、UPS機能※2搭載により、停電などの非常時にも途切れることなく給電が可能で、一般家庭だけでなく、小規模オフィスや店舗などでの使用にも適しています。さらに安価な夜間電力を充電、昼間に給電することで、電気代の節約にも役立ちます。

当社独自の高効率電力変換技術によってスリムでコンパクトなボディに収納、オフィス・店舗・住宅などでの使用を想定しています。可動式(キャスター付)、工事不要(AC100Vコンセント対応)で、誰でも簡単に取り扱うことができます。



太陽光発電システムとの連携



- ※1 スタンドアロン型: 系統連系しない独立型の蓄電池。
- ※2 UPS機能: UPSは無停電電源装置のこと。通常時はAC入力をそのまま出力し、停電時は蓄電池によるインバータ出力に切り替わる常時商用給電方式のこと。インバータは商用電力と同じく正弦波電圧を出力する。

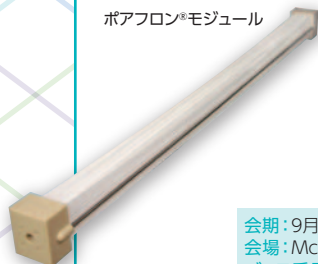
展示会

水処理事業開発部

「WEFTEC 2015」に出展

9月26日(土)から30日(水)までの5日間、米国・イリノイ州で、米国水環境連盟が毎年開催する水関連では北米最大規模の「WEFTEC 2015」が開催されます。この学会・展示会は、北米を中心に2万人以上の水の専門家を集め、最新の技術紹介、国内外のビジネス機会創出目的のフォーラム開催、ネットワーキングの場を提供するものです。当社は、PTFE製精密ろ過膜モジュール「ポアフロン®モジュール」、石油随伴水処理用ろ過吸着塔を主に出品します。

ポアフロン®モジュール



会期: 9月26日(土)~30日(水)
会場: McCormick Place(米国・イリノイ州 シカゴ)
ブース番号: 2295
出展製品: 水処理膜モジュール、ろ過吸着塔

展示会

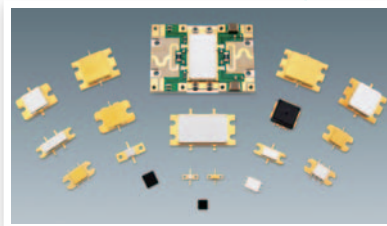
デバイス営業部、住友電工デバイス・イノベーション(株)

「EUROPEAN MICROWAVE WEEK 2015 (EuMW 2015)」に出展

欧州最大規模のマイクロ波関連の国際会議、「EuMW 2015」がフランス・パリで開催され、9月8日(火)から10日(木)の3日間、併設される展示会に当社も出展します。

当社および欧州販売会社のSEEL※1は、各種無線通信やレーダー用のGaN※2 HEMT※3およびGaAs MMIC※4などのデバイス製品を出展します。

- ※1 SEEL: Sumitomo Electric Europe Ltd.(本社:イギリス) 市場調査・情報収集および当社製品の販売、当社向け資材の調達会社
- ※2 GaN: 窒化ガリウム
- ※3 HEMT: 高電子移動度トランジスタ
- ※4 MMIC: マイクロ波集積回路



会期: 9月8日(火)~10日(木)
会場: PALAIS DES CONGRES (フランス・パリ)
ブース番号: 101
出展製品: GaN HEMT、GaAs MMIC など

お知らせ

特殊線事業部、住友電工スチールワイヤー(株)

高強度せん断補強筋「スミフープ®」(KSS785) 損傷制御に対応した新設計式の性能証明を取得

高強度せん断補強筋
スミフープ®(KSS785)



当社は、高強度せん断補強筋※1「スミフープ®」を用いた鉄筋コンクリート造の梁や柱に、損傷制御に対応した新しい許容せん断応力度設計式を適用できるとする建築技術性能証明を取得しました。

今回取得した建築技術性能証明は、2010年に制定された新RC規準※2に基づき、日本建築総合試験所にて認定を受けたものです。損傷制御※3に対応した新しい許容せん断応力度設計式を用いた場合、従来の設計式と比較して合理的な設計が可能となり、せん断補強筋の使用量の削減が可能なケース

があります。また、終局強度設計※4において塑性理論式以外に実験式である荒川mean式も採用できるようになり、設計者の選択肢がさらに広がりました。今回の性能証明の取得により、設計者のより高度なニーズに応えるとともに現場でのさらなる省力化が期待できます。

- ※1 せん断補強筋：地震の揺れなどにより発生する建築部材内のせん断力により部材が破壊されないように部材を補強することを目的として配置された鉄筋。
- ※2 新RC規準：「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説2010」のこと。2010年に日本建築学会が改訂した計算規準。
- ※3 損傷制御：地震後の残留せん断ひび割れ幅が過大とならずに、損傷限界以下に制御すること。
- ※4 終局強度設計：震災などの大きな災害が発生した場合でも、建築構造物が破壊・崩壊しないようにするための強度設計。

新製品情報

住友電工情報システム(株)

文書管理・情報共有システムの最新版 「楽々Document® Plus Ver.3.7」の販売を開始

「楽々Document® Plus」は、企業内に分散して存在する文書やデータを登録・保存・管理し、必要な時に必要な情報を高度な検

索ですぐに取り出すことのできる文書管理・情報共有システムです。

今回、販売を開始した「楽々Document®

Plus Ver.3.7」は、文書フォルダの新規作成が、従来に比べて簡単になりました。また、文書へのコメント投稿機能やグループウェアとのシームレスな連携機能が追加され、さらに便利な使い方が可能になりました。お客様の業務効率化を実現し、社内の情報共有に活用できます。

新製品情報

パワーデバイス開発部

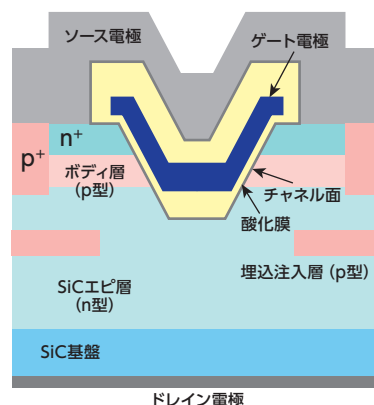
新規構造の高効率SiCパワートランジスタを開発

当社は、次世代パワー半導体として有望視される炭化ケイ素(SiC)を材料とする、独自構造のパワートランジスタ[V溝型金属-酸化膜-半導体構造トランジスタ(VMOSFET、右図)]を開発しました。本製品は、電子の流れをオンオフするチャンネル部分に特殊な面方位(0-33-8)を利用しているため欠陥の少ない酸化膜界面を形成でき、耐圧1,200Vで、オン時の抵抗も2.0mΩcm²と十分な低抵抗を実現しました。また、低欠陥特性を反映し、SiCトランジスタの実用上での課題とさ

れている閾値電圧変動についても、高安定性(175℃、1,000時間で0.12V以下)を確保しています。

こうした特長は、EV/HEV(電気自動車/ハイブリッド電気自動車)など車両駆動システムの電子化に伴い需要の拡大が見込まれる車載用途に適したものです。また、太陽光などの再生可能エネルギー関連機器においても、当社にて開発中のパワーコンディショナに搭載し、業界最高水準の高効率(97.6%)を実証しました。

開発したVMOSFETの構造断面図



その他

人事総務部

小西 勇太選手 世界陸上代表に内定!

当社陸上競技部の小西 勇太選手が、8月22日(土)から30日(日)到北京で開催される世界陸上競技選手権大会の日本代表に選ばれました。

当社の陸上競技部員が世界選手権に出場するのは今回が初めてです。

世界陸上の模様はテレビでも中継されますので、小西選手へのご声援よろしくお願ひします。



「セイコーグランプリ陸上2015川崎」レース終盤の優勝争い(右はエストニアのラスムス・マギ)(写真提供/陸上競技マガジン)

今月の グループ 会社紹介

グローバルグループ Vol.40

SFPZ

住友電工(蘇州)超效能高分子有限公司

私が紹介します



副総経理
高見 憲明

急成長する中国国内向け各種分野での
ファインポリマー事業拡大の拠点、SFPZからのレポートです。



会社概要



名称: 住友電工(蘇州)
超效能高分子有限公司
設立年月: 2005年12月
事業内容: 照射製品および
チューブローラ製品の製造・販売
代表者: 宮崎 悟司

住友電工
との
つながりは

住友電工(蘇州)超效能高分子有限公司(SFPZ)は、住友電工ファインポリマー(株)(SFP)100%出資で、2005年12月に蘇州に設立された、熱収縮チューブ(スミチューブ®)を主とする製造会社です。急成長する中国国内向けの自動車・エレクトロニクス・鉄道車両・インフラ分野におけるファインポリマー事業拡大の戦略の要であり、重要な製造拠点と位置づけられています。

こんな
仕事を
しています

業務の現地化・効率化をめざし スタッフへの指導および教育活動を展開

SFPZは、上海市内から約100km西の江蘇省蘇州市に位置しています。自動車・エレクトロニクス・鉄道車両・インフラなど、幅広い分野で使用される熱収縮チューブ、耐熱テープや複写機用ローラなどを製造し、中国国内市場へは、住友電工電子製品貿易(上海)有限公司経由で、アジア諸国へは海外関係会社を経由し、お客さまに販売しています。ファインポリマー部門の海外生産拠点の中でも幅広い製品を生産できる設備を有しており、SFPZの販売製品の現地生産比率は80%を超えています。

最近では、急速な人民元高(円安)や人件費高騰の影響もあり、中国での事業拡大・競争力アップのためには、生産効率向上によるコストダウンや品質向上のスピードアップに加え、現地生産化のさらなる推進が最重要テーマです。

私は製造部門の管理を中心とした会社全般業務に携わっており、上記テーマの推進を通じて業務のさらなる現地化・効率化をめざ

し現地スタッフへの指導を進めています。

せっかく中国で仕事をしているにもかかわらず、日本語を話せるスタッフが多く、中国語がなかなか上達してないのが残念です。



研修風景



朝礼風景



社員旅行(崇明島)

現地スタッフの紹介



陸 婷婷 (ルー ティンティン)

みなさん、ご安全に! 私は陸婷婷です。2010年に入社以来、製造現場管理を担当しており、2年前からは安全管理も兼任しています。安全管理関係については何の知識もありませんでしたが、積極的に住友電工グループ開催の講習に参加しました。現在では安全管理、安全巡回やリスクアセスメントなど、具体的な活動方法を身に付け、社内でも積極的に実践しています。SFPZは活気と情熱にあふれ、社会への責任感が強い企業です。われわれの会社を世界一の熱収縮チューブメーカーにするためにがんばります!



朱 宏军 (ジュ ホンジュン)

みなさんこんにちは。私は技術・環境科の朱宏军です。2006年10月にSFPZに入社以降2013年までの間、品質保証科で熱収縮チューブの品質について勉強しながら仕事をしてきました。この経験を生かして現在は技術・環境科で、拡販のための現地生産化の推進をしています。これまでさまざまな成功と失敗を経験してきましたが、上司や同僚の助けで自分自身も成長でき、やりがいを感じています。仕事以外でも蘇州はきれいな園林が多く、遊びながら歴史と政治の勉強ができますので、機会があればぜひ足を運んでください。

現地レビュー

昔ながらの観光名所を残しながら急速に進化し続ける街・蘇州

地下鉄路線延長の早さ!!

私が赴任する少し前の2012年に地下鉄1号線(総延長26km)が開通し、2014年には2号線、路面電車が開通しました。現在も3号線、4号線と街中では至る所で工事しており、最終的には総延長380kmの計画とのこと。まだ新しいので、駅・車両はとてもきれいで快適です。

また、タクシー、路線バスも豊富でどこに行くにも便利です。少し足を伸ばせば、新幹線で上海市内まで30分です。



鉄道

懐かしい雰囲気電気街

私の住んでいる場所からすぐ近くに電子市場があり、4階建てのビルの中にはデジタル製品から細かな電子部品まで、所狭しと並んでいます。

電気製品・設備を修理するための補修部品はすべて揃いそうです。



電子市場

繁華街・観光名所

ガイドブックには東洋のベニスとの紹介もあり、街の中心部には川と世界遺産が点在しています。気候の良い日には街へ散歩に出かけて、中国の繁華街の雰囲気を味わいに行くこともあります。



地下鉄駅



電子市場(外観)



観前街付近



盤門風景区



住友電気工業株式会社

<http://www.sei.co.jp/>(バックナンバーも掲載しています)

住友電工グループニュースレター 第455号 2015年8月発行 編集発行人/野田太郎

